

2012 平和行動 in 根室

JP 労組 山村 司

今回、平和活動に参加して自分が知っている北方領土問題と現実の北方領土問題の差を痛感しました。

今回の平和活動で1番心に残った事は元島民 高橋孝志さんの話でした。納沙布岬・望郷の岬公園から自分の故郷が見えるのに、旧ソビエト、ロシアによる不法占拠が続いて今も北方領土元居住者であっても自由に訪れることが出来なく、悲しい気持ちが一層湧いてくる。

時々「島が返還されたらここで生活しますか？」と質問する方がいます。どうしてこんな質問が出来るのでしょうか？島に帰りたくても帰れない。帰れるのなら今すぐにも帰りたい。自分はこの話を聞きながら、涙が出そうになりました。直接元島民の方から話を聞き、より一層北方領土問題に関心を持ちました。

今現在、北方領土では、ロシア化が進み、北方領土に存在する日本建物は紗那郵便局だけになってしまい、その紗那郵便局も近々取り壊す予定になっています。日本人が住んでいた証が無くなりつつある事、北方領土周辺の海域では自由に操業出来ない、四島は魚の宝庫等、知らない人がたくさんいると思います。私は、今回の平和行動で学んだ事を伝えていきたいと思っています。伝えていくことで、少しでも北方領土問題解決に繋げていきたいです。

今回、平和活動に参加させていただき、連合の皆様、各関係者の皆様に深くお礼申し上げます。